

テレビ静岡では番組の適正化を諮るための審議機関「番組審議会」を設けています。

このページでは番組審議会の議事の概要をお知らせしています。現在、テレビ静岡では県内在住の8名の方に審議委員をお願いしており、毎月1回（2月、8月は休会）番組について、ご意見を伺い、今後の番組制作の参考にさせていただいています。

テレビ静岡 2019年6月度 番組審議会概要

平成30年6月13日（木）

14時00分～

テレビ静岡本社 4階 会議室

— 出席委員 —

高木 正和(委員長) 戸崎 文葉(副委員長) 石田 美枝子
木村 精治 上柳 正仁 飯野 勝己 松本 恵司 栗山 勝訓

— 議 題 —

番組名 「爆笑問題の深海WANTED
光るサメ！巨大怪魚！！激レア生物・全国大捕獲SP」

放送日時 2019年5月19日(日) 16時00分～17時20分
16時00分～17時20分 全国27局ネット

【16時00分から5分間は番組紹介（みどころ） 本編は16時05分～】

制作著作 テレビ静岡

— 番組内容 —

希少な深海生物を捕獲・展示してきた『深海 WANTED』。第5弾の今年は、沖縄美ら海水族館と横浜・八景島シーパラダイスと強カタッグを組み、光る深海ザメ「フジクジラ」と全身トロの巨大怪魚「アブラボウズ」などを追いかけた。

沖縄の深海を探るトライアルは今回番組初めて。美ら海水族館では、高感度カメラやROVという無人潜水艇を備えており、深海生物を捉え搬送する準備は万端、タレントJOYが現地で水族館員とともに捕獲に臨んだ。一方の東京湾では、波が荒れる中、入り組んだ湾の窪みに品川庄司が糸を垂れ釣果を待ったが果たして…。出演は、司会の爆笑問題、田中直樹、ハリセンボン、岡田結実。

— 審議概要 —

- ◎深海生物を捕獲して展示するというコンセプトが、うまく成立している良質な番組。
- ◎シリーズ5回で番組が成熟して、最も落ち着いた演出でこれまでで一番よかった。
- ◎生物の捕獲から輸送・展示のプロセスで何が起こるかわからず、引き込まれる。
- ◎司会の爆笑問題をはじめ出演者の力量が高く、安心して観られた。
- ◎番組全体で、バラエティー要素と教育的要素がバランスよく融合していた。
- ◎前半の沖縄での捕獲活動と、中間での爆笑問題の各地水族館等の紹介、後半の東京湾での捕獲活動と調和のとれた構成だった。
- ◎ハイテク機器での海中探査と、アナログ的な網や釣竿での捕獲は、コントラストがついて面白く感じられた。
- ◎深海に興味を持っていない人にも、入って行きやすい作りだった。
- ◎構成は、前半で成功して後半に失敗する組み立てだったが、「リアルな結果でよい」と、「後半で成功して盛り上がるほうがよい」と意見が分かれた。
- ◎深海生物を生存させる様々な「処置」について、もっと丁寧に説明がした方がよい。
- ◎テレビ静岡制作なので、駿河湾や富士山など地元の紹介にこだわりが欲しかった。

第2部 「平成・令和の改元放送」について

以上、制作部門にフィードバックし、今後の番組作りで参考とさせていただきます。

次回の番組審議会は2019年7月11日（木）の予定です。